

スマイルアップだより



平成29年6月28日

大寄小学校 学校保健委員会

6月22日(木)、本年度第1回大寄スマイルアップ(学校保健委員会)が開催されました。丸山学校歯科医様・見内学校薬剤師様また、学校運営委員の皆様、PTA 役員の皆様と大変多くの方の参加をいただきました。ありがとうございました。

会議では、新体力テストの結果や健康診断結果・環境衛生検査結果の報告がありました。また、学校歯科医の丸山先生より「歯肉炎予防」について講話をいただきました。



★新体力テストの結果について～新井体育主任より★

★標準値を上回った項目は96項目中76項目あった。
★本校児童は、ほとんどの項目がよい結果であるが、反復横跳び、立ち幅跳びに課題がある。(俊敏性や跳躍力が課題。)授業・休み時間を工夫し、体力向上に取り組む予定。



★定期健康診断の結果・環境衛生検査の結果～仙波養護教諭より★

★う歯(むし歯)保有者は昨年と同じ程度であったが、Co(初期むし歯)の保有者が減少した。(24.7%→11.5%)
★昨年と比較し、歯垢のついていない、そして、軽い歯肉炎を起こしていた児童の割合が増えてしまった。
★視力A(1.0以上)の児童の割合は、全国平均と比較し多く、良い結果だった。特に6年生に多い。
★肥満傾向児の割合(7.7%)も深谷班平均(8.8%)より少ない。
★環境衛生検査では、給食室の衛生、保健室のベットのダニアレルゲン検査は問題なし。教室内の照度は曇天日に測定し、基準を満たしておらず、再検査を行う予定があった。



昨年度から大幅に健康診断の内容が変更となり、事前の問診が増えている。回答しやすいように改善中。

健康診断結果は、全般に良く、特に歯科については、日頃の各家庭の健康への意識の高さを感じる。昨年より「歯垢の付着・軽い歯肉炎」の児童が多かったため、親子で一緒に歯磨きや仕上げみがきをお願いします。



学校歯科医・薬剤師の先生から助言

★丸山学校歯科医より
・大寄小は歯科保健では、大変優秀である。むし歯保有数も少ない。学校歯科医として、よい歯(むし歯なし)の児童が増えるように力を注いでいる。



★見内学校薬剤師より

・給食室の環境衛生検査は、問題なかった。衛生に気をつけ作っているが、食べる人側(児童)の手の衛生にも気を配ってほしい。

照度検査では、再調査になっているが、再調査しても、基準を満たしていなかった場合は、さらに清掃、蛍光灯の交換等改善を行ってほしい。
今日の図書室は基準値を超えている。



★講話

★★★「歯肉炎予防」

大寄小学校歯科医 丸山 吉弘先生 ★★★



①歯周病とは？

歯周病└歯肉炎：歯肉の炎症
└歯周炎：歯の骨の炎症
(歯の骨が溶けてゆく)

・歯周病が進むと歯を失うことになる。
歯周病は、自覚症状が少ないので、支障をきたす症状が出た時は手遅れであることが多い。(歯周病のスタートは20歳くらいからと言われている。)

②歯周病予防は？

＊歯垢を落とすこと(歯周病を引き起こす原因菌は、歯垢内にいる)



◎適切なホームケア + 確実なプロケア

(自分で歯磨き)

(歯科医院で)

磨いていること 磨けていることの違いを知る →正しいブラッシングが大切

歯科医院では、患者に定期的に歯肉の状態をチェックし、また、歯垢の染め出しを行い、患者自身の歯磨きで歯垢を落とせるように指導を続けている。そして記録をとり、歯肉炎が改善していくような手立てを行う。



＜歯周ポケット検査＞
炎症の様子を調べる



＜歯周病のリスク因子＞

- ・不完全なブラッシング
- ・食生活
- ・口呼吸
- ・歯並び
- ・喫煙・・・受動喫煙も
- ・糖尿病
- ・ストレス
- ・その他



～生涯にわたり、むし歯・歯周病のないきれいな歯を保ってほしい。～

歯肉炎は丁寧な歯磨きで改善できる。歯垢のない(少ない)きれいな口の中を保ち、年齢を重ねても、自分の歯でおいしく食べられるようにしてほしい。

